

### 文学探究プロジェクト（第3回）

日時 令和5年8月16日（水） 9:00～11:00  
場所 弘前南高等学校図書館  
対象 2年次希望者

8月16日（水）、第3回は弘前南高等学校図書館を会場として実施しました。講師は第2回に引き続き弘前市立郷土文学館の櫛引洋一先生でした。「太宰文学の魅力」という演題で、「太宰治の筆法」、「弱き者、失格せる者に捧げる文学」の二つの柱で御講演をしていただきました。その後、図書館の廊下に掲示していたポスター「太宰治生誕100年」を見て、「太宰治のシルエット 小説『津軽』より」、「特別展の資料で綴る『太宰治』」の2本のDVDを視聴しました。なお、ポスター、DVDともに青森県近代文学館からお借りしました。そして、第3回および本プロジェクト全体についての振り返りを行いました。

生徒たちからは、「太宰治の独特な文体に以前から惹かれていた理由がわかりました。告白体の語りかけてくる感じが魅力であることを知りました。」、「読み手に直接語りかける文法をよく使ったこと、パロディに長けていたこと、減んでゆく中から力強く生きていく描写や人のコンプレックスなどをよく描いたことなどがあることを知った。」、「今まで私は、太宰治はロクでもない人間だと思っていたが、この文学探究で太宰の文豪としての魅力や実力など様々なことを知り、考えを改めることができた。」、「もっといろんな太宰の作品を読みたいと思った。」、「当時の時代と作家たちとの背景にはどんな関係があるのか調べてみたい。」などの感想が寄せられました。

「意見交換が活発にできなかったと思う」という意見もありましたが、今年度は、例年と違いポスター発表はなく、今回で終了です。課題や反省点を踏まえて、今後文学探究を深めたり、次のステップに進んだりしてほしいと思います。

最後に、御協力くださった講師の先生方、関係機関の皆様に心より感謝申し上げます。

